

あらゆる走行シーンで体感できる、ハンドリングの楽しさと高い安心感

俊敏かつ上質な乗り味を実現する新世代シャシー

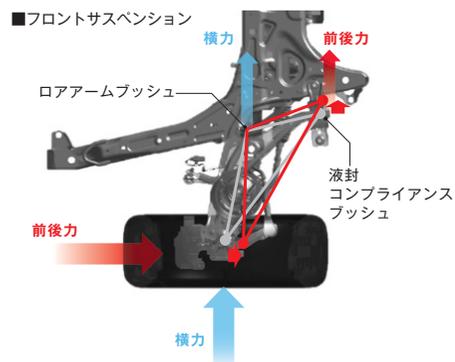
アウトバーンでの高速走行においても高い安心感が得られ、速度域を問わず楽しめるハンドリングを目指してシャシー性能を突き詰めました。ジオメトリ剛性の高い新開発フロントサスペンションやサブフレームを備えたマルチリンク式リアサスペンション、デュアルピニオン可変ギアレシオEPSなどを採用し、ハンドリングと安定性を高次元で両立。液封コンプライアンスブッシュの採用などにより上質な乗り心地も獲得しました。また、重量物であるエンジンをより低く、より後方に搭載するためにエンジンマウントを最適化し、低重心・低慣性化に貢献しています。



図はセダン

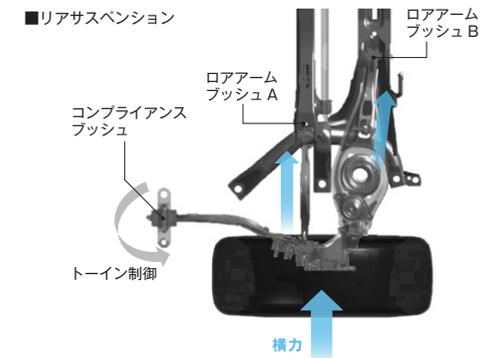
ハンドリングと乗り心地を両立させる フロントサスペンション

フロントにはマクファーソン・ストラット式サスペンションを採用。L型ロアームと高剛性サブフレームを組み合わせたことで、高い接地点横剛性を確保し、ジオメトリ変化の少ないリニアなハンドリングを実現しました。一方で、段差乗り越え時などの前後方向の入力に対しては、液封コンプライアンスブッシュで微細な振動も吸収。上質な乗り心地を獲得しています。



操縦安定性に優れたリアサスペンション

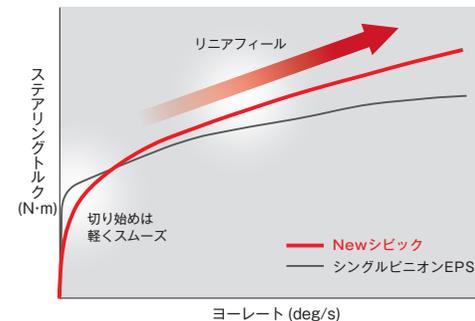
リアにはマルチリンク式サスペンションを採用。すべてのアームを高剛性のサブフレームに取り付ける構造とし、横力によるトーイン特性を最適化。高い操縦安定性を発揮するとともに、液封コンプライアンスブッシュの採用*と合わせ、優れた乗り心地も実現しています。*17インチタイヤ装着車



デュアルピニオン可変ギアレシオEPS

ステアリングの回転を直線方向の動きに変換するピニオンを、入力側とアシスト側の2か所に設置することで、俊敏なレスポンスとなめらかな操舵感を高い次元で両立するデュアルピニオンEPS。それに加え、可変ステアリングギアレシオを採用し、切り始めはスムーズで操舵量に応じてリニアな特性が得られ、スポーティーながらも安心感のあるステアフィールを実現しています。

ステアリング特性イメージ



アジャイルハンドリングアシスト

車両の横すべり時など限界領域で作動するVSAに加え、限界領域の手前で回頭性やライントレース性、緊急回避時のより確かな操縦性に貢献するアジャイルハンドリングアシストを採用しました。操舵角や転舵速度からドライバーが意図する走行ラインを推定し、4輪のブレーキを独立制御して車両挙動をコントロール。ワインディングでのスポーティーな走行やすべりやすい路面でのスムーズな運転を支援します。

(特許取得済(2017年6月時点))

車両挙動イメージ図

